

指定管理者の管理運営に関する評価シート

1 施設

施設名	大蔵海岸施設
施設所管課	都市局道路安全室 海岸・治水課
指定管理者	神戸新聞事業社・兵庫県サッカー協会共同事業体
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
指定管理料 (年度毎)	平成30年度決算額 127,188千円 平成31年度(令和元年度)決算額 130,019千円 令和2年度決算額 158,764千円 令和3年度決算額 160,939千円
管理体制	常勤職員8名(内、多目的2名) 非常勤職員6名(内、多目的4名)

2 指定管理者評価

<ul style="list-style-type: none"> • 指定管理者としての経験とノウハウを活用しながら実情と改善を踏まえて管理業務を実施した。海岸・治水課と連携し、業務計画は達成できたと考える。 • 集客の面では、「大蔵海岸フリーマーケット」をはじめ「潮干狩り、魚のつかみどり、雪まつり、イロイロ体験教室、ミニ縁日」などファミリー向けのイベントを実施し好評であった。また、新たに磯浜を活用した自然観察事業を展開し、手ぶらで自然観察が楽しめるように努めた。 • 来場者の意見・要望等を把握し、今後の公園管理・運営に活かす為に、コロナ禍の直近2年を除き利用者アンケートを実施。「園内環境(快適=70%)」、「公園全体の満足度(満足=72%)」、「海水浴場について(安心できる=75.1%)」については、いずれも高い数字を示しそれぞれ一定の評価を得たものとする。 • 犬の散歩時のマナー向上の為「大蔵海岸マナードッグ」制度を継続で実施。マナードッグ「しつけ方教室」「散歩会」を行い来園者に活動をアピール。マナードッグの認知度も高まり、活動の成果が出てきていると考える。 • 地域や各種団体などが実施する清掃活動の際には、職員も一緒に活動するなどコミュニケーションを図っている。 • 多目的広場の運営面については、新型コロナの感染対策を図りながら営業し、1月1日～3日の休業日およびコロナの影響による休業以外は無休で業務を行った。
--

3 所管課評価

<ul style="list-style-type: none"> • 年間を通じて休まず業務を行うことで、利用者の便宜を図るとともに、緊急時問題なく対応している。また、定期的に巡回や点検を行い、施設の安全管理についての取り組みを継続的に実施している。 • 収支状況は概ね適正であると認められる。また、利用者のウォッシュレット設置の要望に対して迅速に対応するなどサービス向上の取り組みが図られている。アンケート結果からも、公園全体の満足度が約72%となっていることから、利用者の満足度は概ね達成されていると思われる。ただし、多目的広場全体の満足度が平成29年度から平成31年度かけて約21%下降していることから、さらなる利用者サービスを図る必要があると思われる。 • 清掃活動を通じて地域や各種団体と協力しながら交流していることは評価できる。 • 魚のつかみどりや自然観察事業のようにファミリー層が喜ぶ魅力的なイベント等をさらに展開するなど、利用者の満足度を高めていけるよう努力が必要である。

4 指定管理者選定委員会による外部評価

- ・指定期間における施設の維持管理及び運営面では、大きな事故も無く、安全・安心が図られている。
- ・事業達成度では、運營業務、維持管理業務及び自主事業などについて、仕様書や事業計画書に沿って実施されていることから、定められた水準を満たしていることが認められる。
- ・大蔵海岸海水浴場について、海の雪まつりや魚のつかみ取り、夏休みイロイロ体験など海を活かした企画を実施し、コロナの影響により不開設となった代替イベントとして、感染対策を図りながら波打ち際で小さな子供たちが遊べるファミリーゾーンを開設したことは評価できる。
- ・アンケート調査によると、園内環境について「快適」と回答した人が約72%、海水浴場の認知度は約74%、全体的満足度についても約72%が「満足」との回答があり、概ね良好な状態が保たれていると考えられる。ただ、各種催物の回数については、当初に比べ「少ない」とする評価が増加している。
- ・多目的広場について、キッズデーやフレンズデー、サッカー選手と遊ぼう！など新たな事業を企画し、利用率の向上につなげたことは評価できる。ただ、アンケート結果では、職員対応や全体満足度の評価に低下の傾向がみられる一方、施設利用者の利用マナーに関する苦情・意見も寄せられていることから、今後、職員対応のあり方とともに利用者マナー向上の取り組み等について検討していく必要があると考えられる。
- ・ボランティアなどの清掃活動の際にも、職員がともに活動するなど、地域との協働の意識が醸成されてきており、引き続き、地域活動へのより積極的な取り組みが望まれる。
- ・収支状況については、収支計画と実績との比較において修繕費は大幅増であったが、市と協議して適切に修繕がなされている。また、警備員の人件費の高騰により赤字となった平成31年度以外の年度は黒字を計上し安定した運営が行われ、概ね適正に執行されていると認められる。